

金時新品種「かちどき」「きたロッコ」栽培試験（2年目）

1. 目的

帯広市地域における金時新品種「かちどき」「きたロッコ」の品種特性や栽培適性について、普及啓蒙を図る。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 栽培方法

(1) 品 種 : 「かちどき」「きたロッコ」の2品種

(2) 面積および区制

1 品種 3 2㎡ : 畦幅 6 6 cm × 3 畦 × 1 6 m、反復無し

(3) 耕種等概要

土壌区分	土 性	前 作	栽植密度	栽培方法
沖積土	壤 土	緑 肥	66cm×20cm	露 地

※1 株 2 粒播き

土改資材 (kg/10a)	施肥量(kg/10a)						防除回数	
	施肥時期	肥料名	窒素	リン酸	加里	苦土	病害	虫害
炭カル 80kg	基肥 5/28	豆用2号 100kg	4.5	21.0	10.0	4.5	3	3

4. 試験結果

(1) 生育概況

播種は 1 株 2 粒の手播きで行った。播種後の高温・少雨傾向により、出芽不揃いや欠株がみられたため、補植や追播を行った。6月中旬から低温や日照不足が続いて、生育はやや停滞し、開花期は「かちどき」が7月19日、「きたロッコ」が7月18日と遅れた。(平年値7月15日) 開花後の高温により生育は回復し、成熟期は「かちどき」が9月8日、「きたロッコ」が9月9日であった。生育はやや過繁茂傾向で、倒伏や折損が多く、菌核病の発生も多かった。

(2) 収量調査

10a 当たり子実重は「かちどき」が 323kg、「きたロッコ」が 313kg、百粒重は「かちどき」が 68.5g、「きたロッコ」が 47.0g であった。品質は、腐敗粒や未熟粒等の屑粒率は比較的少なく、品質は良かった。

参考：生育調査・収量調査等のデータ

① 生育及び作業ステージ

品種	播種月日	出芽期	開花始	開花期	成熟期	収穫月日
かちどき	5/28	6/10	7/16	7/19	9/8	9/12
きたロッコ	5/28	6/9	7/15	7/18	9/9	9/12

② 生育及び収量調査

品種	草丈 (cm)	莢数 (個/株)	倒伏 程度	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	屑粒率 (%)
かちどき	67.8	20.3	多	323	68.5	8.0
きたロッコ	66.4	23.6	多	313	47.0	7.6

5. 考察

本年は播種後の高温・少雨等の影響により出芽がやや不良で、補植や追播を行ったが、土壌水分に応じた播種深度の調整が必要であった。また、生育後半の過繁茂による倒伏や折損及び菌核病の多発生などがみられたので、今後、施肥量・施肥体系および栽植密度等の再検討も必要と思われる。

収量性は2品種ともに高いので、普及性は大きいと判断された。



6.14 干ばつにより出芽が不揃い



7.3 追播・補植で株数を確保



7.25 生育は回復し、やや過繁茂気味



9.10 過繁茂のため折損・倒伏多い



9.26 にお積み乾燥